

秋の夜長、ゆっくり話したり、
考えたり。

11月の環境サロン
環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に
学びあえる場、語りあえる場です。一度だけのご参加も歓迎です。
問合せ…0836-39-8110 (銀天エコプラザ)

11/5 (水) 15:00~

世代間・地域対話シリーズ 第5回

「大きくなってやりたいこと」

お 話：佐々木真人さん (西光寺住職)
と ころ：恩田小学校体育館
参加費：無料

恩田小学校の学童保育の2グループを対象
に、落語の手法や弾き語りを取り入れなが
ら、こども達に、将来何になりたいか、
語りかけていただきます。

ご興味のある方は
11/3までに 39-8110
(銀天エコプラザ)
にご連絡ください。

宇部市まちなか環境学習館
「銀天エコプラザ」には、
環境関連図書もある無料の
学習室 (無料)、使いやすい
料金のミーティングルーム
(裏面参照) があります。
お気軽にご利用、ご見学、
お問合せください。

11/12 (水) 18:30~

低炭素のまちづくりシリーズ 第6回

「太陽熱利用の可能性と 重要性について」

お 話：荒川純二さん
(山口県再エネアドバイザー)
と ころ：まちなか環境学習館
参加費：200円 (ただし 100エコハ進呈)

(株)長府製作所技術部の荒川さんに、
太陽熱温水器を中心に、技術開発の現
状と、太陽光発電の影にかくれがちな
太陽熱利用の重要性について、わかり
やすくお話ししていただきます。

11/20 (木) 18:30~

世代間・地域対話シリーズ 第6回

「コミュニティースクールと ゆたかなこころの教育」

お 話：福田光正さん
(桃山中学校教頭)
と ころ：まちなか環境学習館
参加費：200円 (ただし 100エコハ進呈)

山口県および宇部市におけるコミュニ
ティスクール取組の現状や、こども達のゆ
たかなこころを育てるための教育の課題
についてご紹介いただいた後、地域の果た
しうる役割について話し合います。

第14回 まちなかエコ市場 11月22日(土) 10:00~15:00

今回のエコ市場では、みんなでつくるまちなかアート
フェスタのファイナルセレモニーとして表彰式など
も行われます。

勇壮な宇部太鼓の演技でスタートするステージでは、
グリーンエコシンガーズさん、高校生のみなさんの
元気な演奏などをお楽しみください。

今人気の子育てグッズリユース広場、
恒例となった軽トラ市の新鮮な野菜や
新米も待ち遠しいですね。
皆さま、ぜひおいでください。

「まちなか銀天おそうじ隊」募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習
館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。

メンバーはその日集まってくださった方。楽しくおしゃべりし
ながら、「まち」をちょっときれいにしませんか?

次回は 11月30日(日) 15時から。おそうじ隊参加者には、
環境地域通貨「エコハ券」2枚進呈!

宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」



うべっくる
<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、
随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

facebook や Twitter へもこちらからアクセスできます。

まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、
お気軽にお寄せください。ポータルサイト内の問い合わせ欄やブログ、
フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

香川県豊島の産廃不法投棄摘発 (1990年)

瀬戸内海には727個の島があり、岡山県と、香川県に挟まれた東備讃瀬戸に広がる島々を直島諸島と言い、その11の島の中に豊島(てしま)という島がある。今では隣の直島、犬島とともに野外彫刻の島として有名となっている。しかしかつては産廃(産業廃棄物)の島として悪名高い島であった。

1975年、それまで島で砂利の採取や埋立を仕事としてきた豊島総合観光開発株式会社は、砂利をほぼ掘り尽くしてしまったので次に儲かりそうな産廃に手を出した。しかしその話を聞いた島民は、有害廃棄物の島内への持ち込みがいずれ取り返しがつかないことになることを恐れ、豊島の有権者のほとんど全員にあたる1425人分の反対署名を集め、激しい反対運動を展開した。

反対運動を続ける島民に対しては業者は暴力団まがいの脅迫行為を続け、一方では廃棄物の運搬処理業の申請から無害廃棄物を使ってのミミズ養殖に許可申請を変更して県に提出した。

当時の前川香川県知事は、産廃事業者を

擁護する立場をとり、むやみに反対をするのは地域エゴ、住民のエゴであることを指摘、また「豊島は、海は青く空気はきれいだが住民の心は灰色だ」との旨の発言をした。しかしそれには事前の業者の知事への周到な裏工作と担当係員への脅迫まがいの行為があった様である。

無害廃棄物を使ってのミミズ養殖は許可されたが、ミミズの養殖はすぐにやめて産廃の受け入れを開始した。廃棄物を解体業者からトン当たり300円で購入した。中にはある金属の回収を目的とした金属回収業の認可を得ての話である。しかし裏でトン当たり2000円の運送費を業者から取るという狡猾な手段を取っていた。そして宇高連絡船の廃止で廃船となった船を使って各地から大規模に産廃を受け入れ、毎日野焼きを続けた。

その間、香川県の職員は100回を超える現場の調査を行っていたが見て見ぬふり、怖くてものが言えなかったそうである。

それから約15年、島のいたるところに産廃の山が出来、海には汚水が流れ出し、海面には死んだ魚が浮く状態となっていた。香川県は深刻な事態を見て見ぬふり、自浄能力が無く、他県である兵庫県警からの摘発となった。

1990年11月16日兵庫県警の50人近い

捜査官が豊島に乗り込み強制捜査が開始された。「瀬戸内海国立公園におけるミミズ養殖を仮装した数十万トンの産業廃棄物の不法処理」が兵庫県警の強制捜査容疑であった。

その後、森永ヒ素ミルク事件で有名となった中坊公平弁護士が反対運動の指導に入り、運動が活発化し、あらゆる手段を取り粘り強い活動が続いた。

そしてようやく香川県は問題を放置してきた責任を認め、2000年6月に島民と公害調停を結び、2016年度内までに放置されてきた産廃を全量撤去し現状回復して島民に返還すると約束した。そして直島にある三菱マテリアルの工場敷地内に焼却、溶融処理施設を建設し、2003年9月から船で運搬して処理を開始した。

しかし、撤去が始まると投棄場所では次々と新しい廃棄物の投棄が見つかり、当初は約60万トンと推定されていた廃棄物は、最新では93万8千トンと推定されている。大量生産、大量消費、大量廃棄の現在文明の影の姿だけでなく過疎地の問題をも浮き彫りにする事件である。

島はいま、野外彫刻とともに産廃問題の学習の場として脚光をあげ、年間4000人を超える研究者や行政関係者、環境運動家らが訪れる場となっている。(館長 西村誠)

ミーティングルームご案内

利用料金	小(2階)	大(3階)
9:00-12:00(3時間)	151円	432円
12:00-17:00(5時間)	259円	756円
17:00-21:00(4時間)	302円	864円
冷暖房費	60円×利用時間	150円×利用時間

※貸出備品/プロジェクター(スクリーン含む)……各時間帯1,000円

- 環境関連のご使用の場合、使用料の減免があります。詳細は、スタッフにお気軽にお尋ねください。



← ミーティングルーム・大
大きな窓のある明るい部屋です。
(30人程度まで)



ミーティングルーム・小 →
少人数での集まりにぴったりです。(12人程度まで)

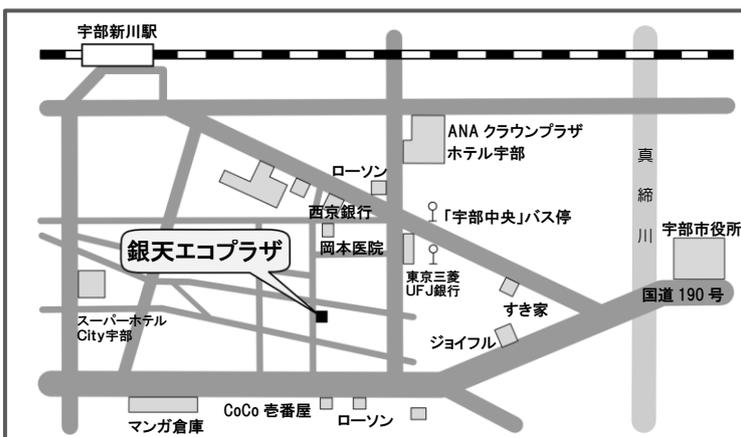
スタッフのつぶやき

お弁当箱や保存容器のこと

プラスチックのお弁当箱や保存容器の隅のめぐるめした汚れ、いやですね。環境のためにも、お肌のためにも合成洗剤は使いたくない……となるとますます困ります。

そこでちょっと頭を切り替えて、容器の材質を選んでみてはいかがでしょう。石油製品と油汚れは仲良し。汚れも取れにくくて当然ですね。

十数年前、形も懐かしくてステンレスのお弁当箱に替えました。すると洗浄するのに、洗剤も石けんもお湯もなしでほぼ済んでいます。保存容器もガラスや陶磁器、ホーローなどにすると本当に楽ですよ。もちろん割ってしまうこともあります。ズボラに家事をしたい私にぴったりです。(F)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し(近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時~21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)